

目標	現状	戦略	事業名
観光地の魅力アップ	4月は美女平まではケーブルカーしか利用できない。待ち時間が2時間半を超える日もあり。	立山黒部アルペンルート リ・デザイン	①千寿ヶ原1号公園再整備 ②立山駅前景観再整備
	県が環境庁(当時)の交付金で整備した道標などが劣化しており、道迷い対策が必要。		立山室堂周辺のサイン・リフレッシュ事業
上東地区を「行ってみたい、暮らしたい」エリアへ上東ヒルズ	ヘルジアンウッドが2019年12月に一部オープン予定	上東地区のグランドデザイン策定のもと、移住定住を促進	①幅割の雑木林伐採、景観形成事業 ②サイクリング用のマップと看板を整備
	日中上野保育所が2019年3月廃所。旧谷口小の郷土資料館展示室移転		旧日中上野保育所リノベーション
	カラスによるイメージダウン。イノシシ被害も増加。		①総合公園とりでの丘の景観整備事業
五百石地区空き家利活用	空き店舗等が解体され、空き地が増加。空き家も増加し、空洞化が著しく、不安を訴える住民が増えている。	町外資本参加を得て、空き家を利活用したい	五百石地区再発見。
公共施設等マネジメント計画の具体化	町中心部の公共施設の老朽化、業務やエネルギー効率も悪い。	公民連携による公共施設等の再編と周辺地域活性化事業	①町中心部公共施設等複合化・集約化事業
農業の担い手支援で地域を元気に	道源寺など、農地の基盤整備が進んでいない(地籍調査未実施)地域において、耕作放棄田や空き家が増加	①農地取得条件の緩和(農地付き古民家取得) ②地籍調査で不動産の流動化	①新規就農者支援モデル事業 ②道源寺の地籍調査は2021年度から
災害時に耐えられる、「しなやか」なまちに	太陽光と蓄電池に加え、雄山中・上東・旧新瀬戸体育館にLED。雄山中校舎と釜ヶ淵小校舎に空調。みどりの森保育園にLED。まだLEDでない学校照明がある。	減災と低炭素化を同時実現	①自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業 ②避難所となる役場や学校などにWi-Fi
	①旧釜ヶ淵保育所にはアスベストが見つかり、解体やむなし ②これまで建物と道路とのスペースがない危険な分団詰所を改築	防災拠点整備	②消防施設整備事業
サテライトオフィス誘致推進事業	旧新瀬戸小と立山芦峠小学校のテナントの応募がない。	空き公共施設で地域活性化	サテライトオフィス誘致推進事業
「たてポ」で地域経済循環を	2013年の民間消費における支出流出率は、-22.4% 全国1719団体中1401位。	交通弱者対策としてタクシーを活用。通院にあわせて、町内小売店での買い物による消費支出流出率の改善を図る。	高齢者等の買い物・通院等タクシー支援事業 自治体ポイントと地域通貨「たてポ」の導入と連携
	町有地を人口増に寄与する事業目的に売却。 ①2019年度に旧五百石保育所解体 ②2023年度予算で江崎町営住宅を解体予定。周辺空き地の利活用の起爆剤となることを期待	移住者に、町内小売店を知るきっかけづくり	県外移住者の住宅取得応援事業。
環境対策で火災対策	高齢単身世帯が増加し、火災発生の懸念が高まっている。	火災の発生要因をCO2削減と併せて減らしていく	省エネ型住宅設備更新補助をたてポで付与
子育て環境をしっかりとPR	保育料無償化により、世帯分離が進むことが心配	3世代等同居の推進	孫守り給付金(2022年度以降も継続するかどうか、2021年度末に検討)
	国内では児童虐待など痛ましい事件が多発	町全体で子育て支援の気運を醸成	2か月児訪問時にベビーバッグ贈呈とたてポ
	①保護者から「冬場の遊び場がほしい」という要望あり ②町からの発信力が弱い	SNSの情報発信力強化	町公式instagramを開設。(仮称)「お子さんとたてやまの風景」も募集
鳥獣害対策の強化	豚コレラ対策はまず、イノシシ個体数削減へ	鳥獣被害対策専門員を役場に配置し、総合力を高める	①上段丘陵西側の雑木林整備事業 ②恒久型侵入防止柵の設置を加速
企業誘致強化による立山IC開発	①2019年度に測量 ②イノベーションパークの東側用地の需要あり	立山IC周辺への企業誘致の地元要望に応えたい	①企業団地造成に向けて、農業振興地域除外申請手続きへ ②イノベーションパーク東側用地開発
「次代を担う人を支援し、町を生かす」	経済的な理由により、高校や大学の進学が困難な世帯がある。また、県外の大学等に進学したまま、町に戻ってこない。	県外の大学等に進学した若者が富山で働き、町の納税者に	奨学金返済応援事業(Uターン学生と高校生)【2017年度から登録開始】の拡充
	立山黒部アルペンルートのインバウンドのうち、2018年度は台湾からは52%を占め、13万8千人。2019年度は減少傾向	台湾に地元高校生を派遣。雄山高校の魅力づくり	①町内高校生等台湾派遣事業 ②台湾の大学生インターン受け入れ事業
	全国学力テストの結果では、平成23年以降、小学校は全科目において県平均を上回っているが、中学校はそのままいかず、要因がわからない。	読解力を養い、社会で通用する子どもを育てる。	リーディングスキルテスト2019年の結果を受けて、立山町の授業を改革
	布橋灌頂会の対応。立山芦峠小の利活用。	地域リーダー育成	地域おこし協力隊